

## 2005年度 ジャパンアートマイル<JAM> 活動報告

ジャパンアートマイル代表 塩飽 隆子

ジャパンアートマイル<JAM>は、日本人として自分の国の伝統・文化に誇りを持ち、グローバルな視野をもって世界の人々と相互理解を深めていくことにより、世界の平和に寄与することを理念とし、次の二つを目標に定めて活動を行っています。

- (1) テーマのある絵画を共同制作することで、一人ひとりの問題意識を高め、自ら考え行動する自立した子どもを育てる。
- (2) 作品の海外展示をとおして、世界を身近に感じ、世界に向かった広い視野を持つ子どもを育てる。

### JAM 活動の3本柱：

- (1) <広報> 学校や教育団体を通して全国の子どもたちにテーマを持った「アートマイル壁画」の制作を呼びかける。
- (2) <展示> 国内・海外で機会を捉えて作品を展示する。また、制作された作品を Web 上のバーチャル美術館で展示する。
- (3) <海外交流事業> 絵画を通じた国際交流を希望する学校・団体を支援する。

### 【2005年度の活動】

#### 1. 組織の充実

- (1) 10月—プロジェクト名を「アートマイルジャパン」から「ジャパンアートマイル」に変更し、通称をJAMとする。JAMの理念・目標を明確に掲げ、活動方針を定める。
- (2) 12月—プロジェクトの全国展開に向けて実行委員会を設け、コアメンバーを増強。併せて、コア用メーリングリストを開設。また、一般会員用にアートマイルMLを開設。
- (3) ジャパンアートマイル<JAM>のホームページを開設。  
<http://www.ako-info.jp/artmile/>

#### 2. 広報活動

- (1) [11月19-20日] 関西大学で開催されたジェイアーン・ワークショップで JAMプロジェクトを紹介し参加を呼びかける。
- (2) [11月27日] 兵庫県赤穂市国際交流協会が主催する「国際理解講座」で講演。ジャパンアートマイルの取り組みを紹介すると共に、参加を呼びかける。
- (3) [2006年1月23日] 全国の47都道府県教育委員会宛にプロジェクト案内文を送付。

(4) [2月26日] 兵庫県立美術館で開催された美術科教育学会の研究会で発表。

### 3. 展示活動

#### (1) 海外展示

- ・ [4月23日] アメリカ・デンバー。 Earth Day 大会で「弓削キッズゲルニカ」「地球人としての民族衣装」を展示。(※Art Miles Mural Project が展示管理)
- ・ [7月17-24日] セネガル・ダカール。2005年アイアーン国際会議で「未来に羽ばたく」を展示。(JAM)
- ・ [8月] アメリカ・ナイアガラ。 Community Conference で「弓削キッズゲルニカ」「地球人としての民族衣装」を展示。(Art Miles Mural Project)
- ・ [9月21日] アメリカ・ニューヨーク。 Peace Day イベントで「弓削キッズゲルニカ」「地球人としての民族衣装」を展示。(Art Miles Mural Project)
- ・ [11月2-5日] 香港。 Crossroads 記念大会アートマイル・マラソンで「弓削キッズゲルニカ」を展示。(JAM)
- ・ [2006年3月15-31日] エジプト・アレキサンドリア。 第1回エジプト展で「未来に羽ばたく」を展示。(Art Miles Mural Project)

#### (2) バーチャル展示

JAMホームページ上で、2005年度制作作品を展示。

<http://www.ako-info.jp/artmile/2005/2005mural.html>

### 4. 海外交流事業

2006年4月にスタートする「シリアと日本のアートマイルプロジェクト」の準備活動を1月から開始。

このプロジェクトは、JAMが、関西大学総合情報学部大学院、国連パレスティナ難民救済事業機関（UNRWA）と共同で行うプロジェクトであり、シリアのパレスティナ難民キャンプの子どもたちと日本の子どもたちがインターネットを通して異文化交流学習をし、学習の成果物として共同でアートマイル壁画を制作するというもの。

- ・ 1-2月 関西大学と共にプロジェクトの骨格を決める。
- ・ 3月 シリア・パレスティナ側の参加校決定。  
日本の参加校を募集。

## 【2005年度制作作品の紹介】

### 「アートマイル山古志 Version」

2004年の新潟中越地震で被災した山古志の子どもさんたちに「はげましメッセージ」を込めた絵を作成して贈るプロジェクトに、熊本の3小学校が取り組んだ。

励ましの絵を贈った熊本の子供たちと旧山古志村の子供たちの間で、心温まる手紙のやり取りがあった。



**作品1 「アートマイル山古志 Version 手をつないで」**

- ・学校 熊本県熊本市立春日小学校 6年生 35名
- ・絵に込めたメッセージ 被災した山古志村の子どもたちが元気が出るように、山古志の有名な錦鯉と闘牛、美しい自然を右側に描きました。遠く熊本の地から、1日も早く村が復旧することを願っているという意味で左側にわたしたち熊本の自然や伝統を描きました。そして、困難に出会ったとき、手をつなぎ心をつないでみんなで助け合ってください、という意味で握手している絵をメインにしました。



**作品2 「アートマイル山古志 Version 熊本の自然と子どもたち」**

- ・学校 熊本県熊本市立春日小学校 造形部の子ども 4・5年生 14名
- ・絵に込めたメッセージ 「山古志の人たちに元気を出してもらえそうな絵をかこう」ということで子どもたちと考えました。熊本城や緑の山々、色とりどりの花々、動物、その中で遊ぶ子どもたち。絵を見て、にっこり笑って、楽しく、元気になってもらいたい、というコンセプトで仕上げました。



**作品3 「アートマイル山古志 Version みんなの笑顔で元気をだしてね」**

- ・学校 熊本県熊本市立城山小学校 2年生4クラス 127名
- ・絵に込めたメッセージ 地震に負けないで頑張ってください。私達は、みんなで応援しています。私達が応援しているのを忘れないでね。一人一人ずつ顔を描いて応援します。



#### 作品4 「平和への願い」

・学校 熊本県熊本市立力合小学校 6年1組 35名

・絵に込めたメッセージ 地球のまわりには、世界の人たちが平和を願って手をつないでいます。真ん中の手は、国と国が仲良しになって戦争をなくすように、平和祈念像は、二度と原爆の恐ろしさを経験しないようにという意味です。風船の中には平和の願いが世界に届くようにと鶴を入れました。どんなに小さな命でも無駄にしてはいけないという意味で小さな生き物も入れました。太陽は、人々や花を照らし、鳥たちも太陽の光を浴びている様子を表しています。



#### 作品5 「自分のふるさとを大切に 友だちのふるさとも大切に」

・学校 兵庫県神崎郡神河町立越知谷小学校 2年生 15名 沖縄県石垣市立川平小中学校 2年生 8名

・絵に込めたメッセージ <越知谷> 私たちの住む越知谷には、すばらしい自然があります。きっとどの町にも素敵などころがあるのでしょうね。お互いの自然やくらしを勉強して、それらを大切にしていきましょう。 <川平> 川平の海のようにきれいな心で、世界をつなぎたい。みんなとなかよくなって、戦争をしない平和な世の中にしたい。



#### 作品6 「人にやさしく・地球にやさしく」

・学校 兵庫県赤穂市立高雄小学校 6年生 26名

・絵に込めたメッセージ 年間を通して身近な環境について調べる中で、子どもたちは動植物の命だけでなく、人の命の大切さまでも自然と感じ取ることができた。人やさしく、地球にやさしく……。絵には、絶滅が危惧されているパンダ、ハイイロオオカミ、イリオモテヤマネコを描いた。



### 作品7 「魅力いっぱい 未来の春日のまち」

・学校 熊本県熊本市立春日小学校 6年生 35名

・絵に込めたメッセージ 総合的な学習の時間に、春日のまちづくりを提案する学習をしました。

6年後には新幹線の駅が校区内にできます。それにあわせて7年後の未来がこうなっていればいいと描きました。

私たちの考えた楽しい公園、手長エビ釣りができる水辺、UDいっぱいの情報センター、外国の人もやってくる神社などの名所、市民がいっぱい利用する市電、幼児も安心して遊べる公園、そして私たちの校区のシンボル春日ぼうぶらが駅で名物になっている・・・すべて私たちの行ったミニプロジェクトをもとに最後にまとめとして描いた絵です。